

QST病院とは

- ・重粒子線がん治療のトップランナーとして、**14,100人以上の患者を治療**
- ・**より良い治療や装置の小型化**を実現するための研究開発を実施

【所在地と沿革】

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

- 昭和36年 4月 放射線医学総合研究所(放医研)病院部として創設
- 昭和38年 4月 病床数38床増床 88床となる
- 平成5年 5月 放医研 重粒子治療センター治療・診断部として発足
- 平成6年 6月 重粒子線治療の臨床試験開始
- 平成9年 4月 病床数12床増床 100床となる
- 平成13年 4月 放医研 重粒子医科学センター病院として発足
- 平成15年10月 「固形ガンに対する重粒子線治療」が高度先進医療承認
- 平成28年 4月 量子科学技術研究開発機構 放医研として発足
切除非適応の骨軟部腫瘍が保険適用
- 平成30年 4月 頭頸部悪性腫瘍、前立腺がんが保険適用
- 平成31年 4月 量子科学技術研究開発機構 QST病院として発足
- 令和4年 4月 大型の肝細胞癌、管内胆管癌、膵癌、大腸癌局所再発、子宮頸部腺癌が保険適用

【職員数】(令和4年7月1日現在の常勤換算)

186名(医師:25、歯科医師1、診療放射線技師34、看護師55など)

【敷地・建物】

敷地面積 5,544 m²
建物面積 1,880 m²
延面積 10,417 m²

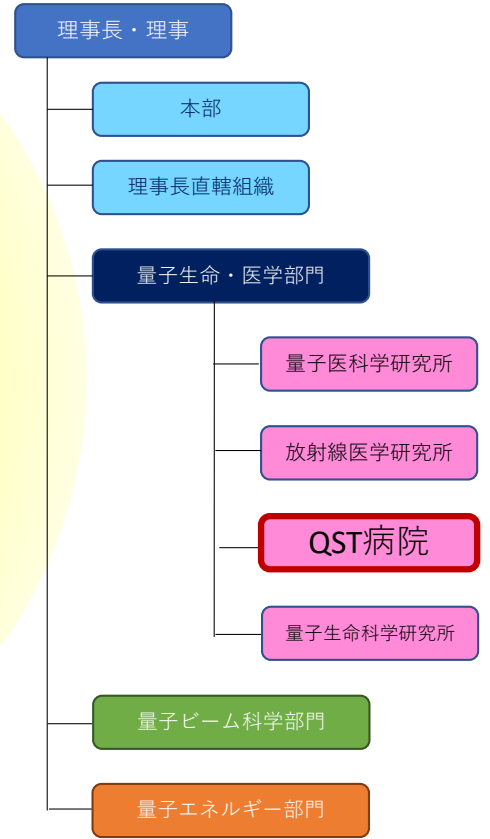


病院棟(右)と
新治療研究棟

【医療法承認病床数】

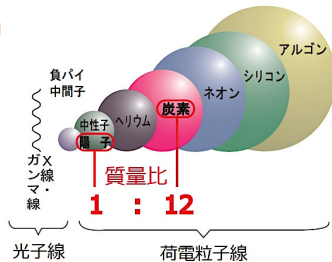
60床

【量子科学技術研究開発機構の組織】



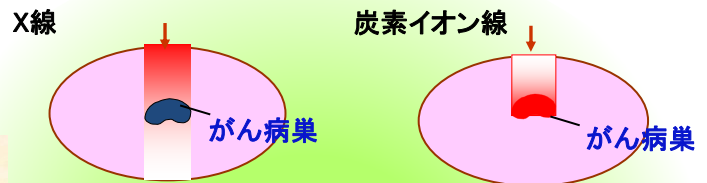
重粒子線治療とは

炭素イオンを光速の約70%まで加速してがんをピンポイントかつ強力に攻撃する最先端の放射線治療。



重粒子線治療の特徴

○ 高い線量集中性：がんピンポイントで照射

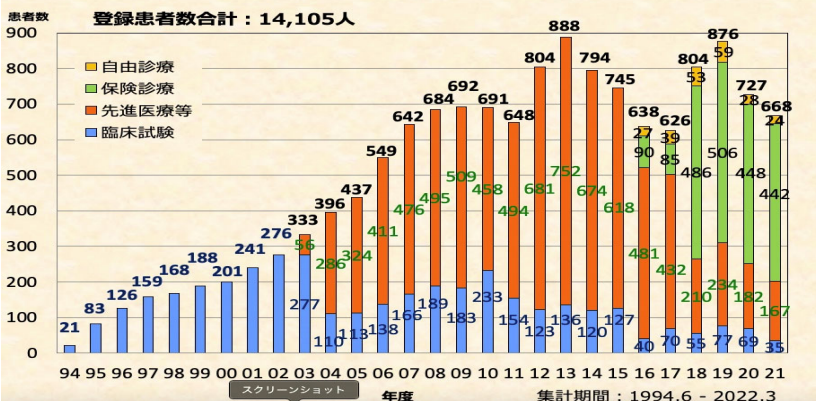


- X線は体表面で最も効果が強く、体内を進むにつれて効果が弱くなる。
- 重粒子線(炭素イオン線)は体表で効果が弱く、**がん病巣で止まる際に最も大きな効果を発揮するため**、がん病巣に集中してダメージを与えることができる。

○ 高い生物効果：放射線の効きにくいがんにも有効

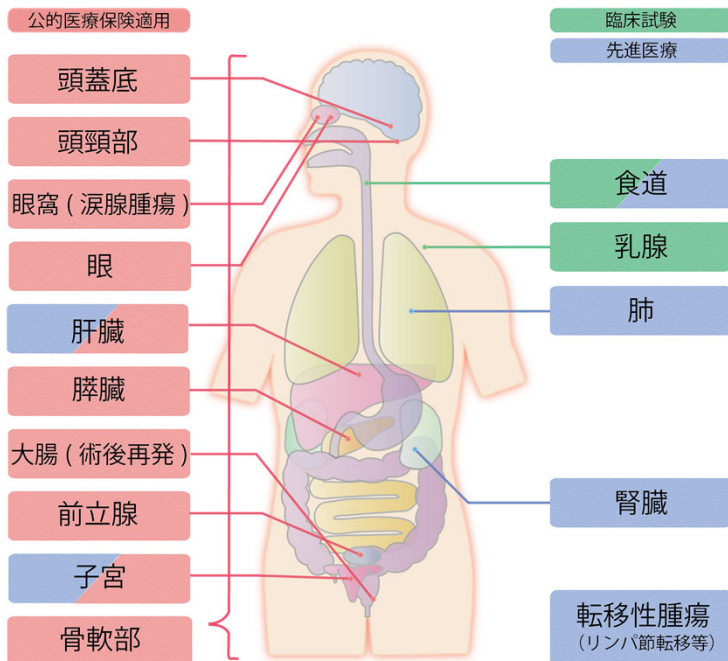
- 重粒子線はがん細胞への**生物効果がX線や陽子線よりも高い**ため、通常の放射線が効きにくいがんにも効果があり、短期間での治療にも適している。

診療区別登録患者数の推移



- 切除非適応の骨軟部腫瘍(平成28年4月)、頭頸部悪性腫瘍・前立腺癌(平成30年4月)に加え、大型の肝細胞癌、管内胆管癌、局所進行性膵癌、大腸癌局所再発、子宮頸部腺癌についても令和4年4月から保険適用になった。

重粒子線治療の適応

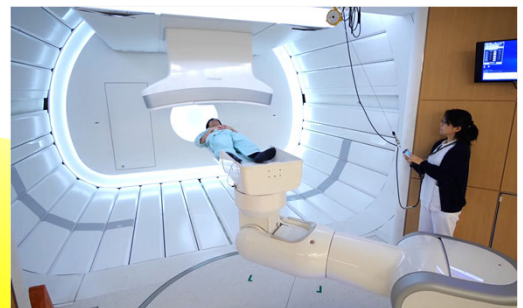


- ・良性腫瘍、胃・十二指腸・小腸・大腸がんの原発病巣、血液腫瘍、皮膚がんの原発病巣は対象外。
- ・入院の有無は疾患名や治療の内容、患者の病状などで判断。
- ・先進医療の場合、重粒子線治療の技術料（314万円）は全額自己負担。

【アクセス】



- JR総武線 稲毛駅(総武線快速・各駅停車)
* JR稲毛駅東口より徒歩10分
* JR稲毛駅東口バスターミナル(2番乗り場)よりバス乗車 → 放医研正門下車 (山王町行、千葉センター行、ザ・クイーンズガーデン稲毛行)
- 京葉道路: 穴川インターより10分(注意: 稲毛区役所付近で側道へ)
- 東関東自動車道: 宮野木ジャンクション → 京葉道路・穴川インターへ



回転ガンリー
治療室

【お問い合わせ・ご相談】

病院代表

☎ 043-206-3306
FAX 043-206-3345

受付時間
平日 8:30~17:00

地域医療連携室

☎ 043-206-3483
FAX 043-206-3439

受付時間
平日 9:00~11:30、12:30~16:00

電話相談
重粒子線治療や受診方法のお問合せ

☎ 043-284-8852

受付時間
平日 9:00~11:30、12:30~15:00
※不定期で休日になる場合があります
※治療適応などの判断を電話で行うことはできません

国際治療研究センター
海外からの受診のご相談

☎ 043-206-3181
FAX 043-206-3188
✉ kokusaiml@qst.go.jp



QST病院のホームページも
ご参照ください

<https://www.nirs.qst.go.jp/hospital/>



国立研究開発法人
量子科学技術研究開発機構

QST病院

千葉市稲毛区穴川4-9-1